



「任意後見サポーター®」養成講座～ 任意後見を正しく知って、 認知症に事前準備しよう～

第10期第8回
2019.7.4



「事例紹介」「質疑応答」を行ないました。

2019年7月4日（木）

第8回目は、任意後見の「事例紹介＆質疑応答」です。
今回は、行政書士で協会理事の加賀雅典先生の講座でした。

まず最初に、加賀先生の活動の近況報告がございました。
2週間ぶりであって報告もたくさんありましたが、大変勉強になる事例紹介でした。

今回の講座は、加賀先生が実際に受任しておられる方々の事例をご紹介していただきました。

加賀先生が最も長く受任している方は十数年で、この月日の長さが加賀先生の受任者としてのキャリアを物語っていると思いました。

ではどのような方が任意後見を利用しているのかということですが、年齢は60代～80代、男女問わず生活スタイルも家族構成も任意後見を利用したきっかけも千差万別であるということです。

そのような方々の受任を多数されている加賀先生のお話は、私たちの実生活にも役に立つ内容でした。

また、受任者の仕事というものは、委任者の立場に立って、親身になって向き合わなければ成立しない極めて神経を使う仕事であることも感じました。

最後の質疑応答では、時間の都合もございましたので、予め加賀先生の方で質問を用意して下さって、それに加賀先生が回答していただくというスタイルにしました。講座終了後も受講生が質問をするなど、大変意義のある講座でした。

次回は受講生全員でグループ討議です。

講師：加賀雅典（行政書士）

理事長：佐々和亮

事務局：秋元美香利

